

公表:令和8年3月31日

総数:29名
(100%)

事業所名:(福)上田明照会 蓮の音こども園

チェック項目		はい	いいえ	NA	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	① 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	28	1		・活動や場面に応じ、グループに分け複数の部屋を使っている。 ・併行通園など、日により利用人数の調整がある。	・活動によっては狭いと感じることもあると思われる。活動によりグルーピングを行い、こどもが居心地よく過ごせるよう工夫していく。
	② 職員の配置数は適切であるか	26	3		・その日の子どもの人数に合わせてフリーの職員を含め配置をしている。 ・クラスを限定せずにどの子どもも全職員でみていくようにしている。	・法令で定められている数以上に配置をしている。個別対応が必要な時には、職員間で調整し、クラスを越えて皆でフォローし合うことを定着させていく。
	③ 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	26	3		・パーテーションや座る配置などを工夫し、本人が情報を受け取りやすいような空間づくりを考えている。 ・車いす利用児等は1階クラスで安心して過ごし、広い廊下で移動訓練などを行っている。	・生活しやすい環境を整え、子どもたちが安全に自ら行動できる空間を考えていく。 ・エレベーターがないため、2階への移動は安全面に配慮することを周知徹底している。 ・職員が速やかに情報共有を行い、危険に対する意識を高めていく。(ヒヤリハットや研修含む)
	④ 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	28	1		・毎日清掃をし、けが防止のマットを敷いたり角にはタオルを巻いている。 子どもの状態、疾患、特性に合わせて過ごす場所やグループ分けをしている。	・リーダーや感染対策委員会が中心となり、基本的な感染対策と衛生管理を実施し、子どもたちがわかりやすい生活空間と安心安全な環境整備に努める。
業務改善	⑤ 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	29			全職員が参画できるよう、各種会議、議事録、連絡アプリなどを活用している。	・定期的な職員会議の開催やパート職員会議、クラス会議、リーダー会議等を行い、目標の確認や振り返りをしていく。
	⑥ 保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	29			毎年行い、課題を抽出し改善目標を設定し具体策に取り組んでいる。	・全職員が参画しながら、具体的な業務改善に取り組み、評価を行いながら進めていく。 ・ご家族丁寧なコミュニケーションをとり、説明していく。
	⑦ 事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	29			・評価結果の公表と、結果を踏まえた改善目標の共有に努めている。 ・HPやSNSも活用している	・法人ホームページに掲載する。 ・引き続き改善内容に関する具体的な活動やこどもの様子をホームページに載せている。
	⑧ 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	28	1		・評価結果を基に、中長期計画作成に取り組んだ。	・中長期計画・それに対する具体的な取り組みに関する計画を基に、業務を遂行していく。

	⑨ 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	29			・研修計画を基に、外部、内部研修を行っている。 ・各種会議も活用し、パート職員を含めた全職員に研修の機会を確保している。	・積極的に研修に参加し、プレゼンの機会を持ちながら互いに学ぶ風土をつくる。 ・年間計画に基づき研修を企画し、支援の向上に努める。
適切な支援の提供	⑩ アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか	29			・子どもの気づきを大切に保護者と共有しながらアセスメントをしている。 ・5領域の視点で、芽生えている力を大切にしている。	・アセスメントを基に、具体的支援に連動した児童発達支援計画の作成に努める。 ・計画作成のための会議には多種職が参画し、複数の視点で肯定的に捉えたプランを作成する。
	⑪ 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	28	1		・発達検査や分析ツールも利用し、アセスメント票におとしている。	・検査について学習を深め、正しく読み取り支援に活かせるようにしていく。 ・客観的な評価を基に支援ができるようにする。
	⑫ 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	29			保護者がイメージできるように、より具体的でわかりやすい支援内容に心がけている。	・本人の様子やご家族の願いを基に、5領域に基づいた根拠のある具体的な支援を組み立てていく。 ・計画書の内容についても、ご家族が読みやすく、分かりやすい内容で立案し、丁寧に説明していく。
	⑬ 児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	29			目標を意識するための工夫をし、日々振り返りしている。	・今後もモニタリングを活用し、支援内容の確認をしながら進めていく。
	⑭ 活動プログラムの立案をチームで行っているか	29			・クラスリーダーを中心とし、チームで話し合いながら立案している。	・クラス会議を活用しながら、皆が参画し、計画的に立案、実施、振り返りをしていく。
	⑮ 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	29			・安心を広げるため、あえて固定する場面と、新しいチャレンジを促す活動と両方の視点を大切にしている。 ・後期は園全体で取り組む運動プログラムを実施した。（今年度の改善目標）	・子どもの意志を尊重し、興味関心を引き出す工夫と、隣接する保育園との活動の機会を積極的に取り入れていく。
	⑯ 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成しているか	29			・子の様子に合わせて個別と集団を取り入れている。	・安心できる関係性を基に、個々の様子やクラス全体の調整を図りながら柔軟に対応していく。 ・個別対応だけでなく、集団に参加する機会とチャンスを逃さないよう、タイムリーな支援を行う。 ・集団活動は、隣接する保育園の環境も活用していく。

	⑰	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	29			・出勤のタイミングで、その日の活動や流れを確認しあっている。	・シフトによる出勤時間の違いがあるため、視覚情報を活用しながら、職員も見通しを持って業務に当たることができるよう工夫していく。
	⑱	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	29			・振り返り、打ち合わせは念入りにしている。共有は視覚化している。	・全職員の意見や思いを聞きながら、引き続き丁寧に取り組んでいく。
	⑲	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	29			・日々の記録とともに毎月の所見などで評価と改善を行っている。 ・連絡ノートや月ごとの所見で、内容を家族にもお知らせしている。	・ケース記録や所見の質の向上に努め、児童発達支援計画と連動しながら、適切に支援していく。
	⑳	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか	29			・モニタリングでの情報をタイムリーに共有し、見直しの有無についても判断している。	・モニタリングで把握された内容を、書面及び口頭にて職員間で共有し、適正に対応していく。 ・相談支援とも共有・連携していく。
関係機関や保護者との連携関係機関や保護	㉑	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	29			・児童発達管理責任者、管理者、担任など、状況に応じて複数人で参加している。	・会議の内容により、参加者の選任を行い、効果的な会議になるようにしていく。
	㉒	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	29			・必要に応じて関係者を交えて支援会議を開き、連携できるようにしている。 ・園見学や外来教室への参加等、母子保健と連携して行われている。	・連携すべき関係者と適宜共有し、子どもや家族の安心・安全な生活が実現できるようにも考えていく。
	㉓	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障がい福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか	28	1		地域の会議に参加し、行政や教育等の関係機関と地域支援の向上について考えている。	・関係機関との情報共有に努め、地域で過ごす体制についても考えていく。
	㉔	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか	28	1		・必要に応じて支援会議を開き連携できるようにしている。 ・情報提供書のやり取り、受診同行等を行い、ケア内容や配慮点を確認している。	・病院からの情報提供を基に、看護師と共に受入れ体制を整え、支援内容についても安全に過ごせるよう配慮していく。
	㉕	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	28	1		・見学や参観等、会議だけではなく、双方向に出向くことでより具体的に情報共有・相互理解ができるようにしている。 ・書面資料だけではなく、動画などを使いイメージしやすいように工夫している。	・移行準備として、様々な体験の機会を確保し、新しい環境への適応が図れるよう準備していく。 ・移行する保育所や学校においても、ご家族が相談しやすいよう、移行前の関係づくりも支援していく。

者との連携	②⑥	移行支援として、小学校や特別支援学校（小学部）との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	28	1	<ul style="list-style-type: none"> ・見学や参観等、会議だけでなく、双方向に出向くことでより具体的に情報共有・相互理解ができるようにしている。 ・書面資料だけでなく、動画などを使いイメージしやすいように工夫している。 ・転出の場合は、Zoomにて移行会議を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・移行準備として、様々な体験の機会を確保し、新しい環境への適応が図れるよう準備していく。 ・移行する保育所や学校においても、ご家族が相談しやすいよう、移行前の関係づくりも支援していく。
	②⑦	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	28	1	<ul style="list-style-type: none"> ・毎年県内のセンターとの情報交換会を行っている。 ・地域の中で交換研修を行っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・各種必要な研修等に多くの職員が参加し、支援の質の向上に努める。
	②⑧	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	29		<ul style="list-style-type: none"> ・隣接する保育所との日常的な交流の場がある。 ・双方向に行き来できるよう、職員連携に努めている。 ・移行児は移行先園との交流の機会を作っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・日常的な自由交流や段階的に目的のある関わりを工夫し、お互いの理解を深める。 ・地域の保育園等とも連携できる機会増やしていく。
	②⑨	（自立支援）協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか	28	1	<ul style="list-style-type: none"> ・積極的な参加と意見交換に努めている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・社会状況の変化に対応できるよう情報収集をし、関係機関との連携に努める。 ・センター機能として地域のハブの役割を担っていく。その為の人材育成にも取り組んでいく。
	③⑩	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	29		<ul style="list-style-type: none"> ・毎日の情報共有（連絡帳・口頭）のほかに保護者の思いや困り感に即対応できるよう必要に応じて面談も行っていきsる。 ・情報共有の際は、写真や動画も利用し、タイムリーな共有に努めている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き丁寧な情報共有に努める。
	③⑪	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）の支援を行っているか	29		<ul style="list-style-type: none"> ・今年度から夫婦で参加できるよう、土曜日の開催の機会を作った。 ・親子通園を通し、実際の支援を体験してもらうことや、学習会なども定期的に行っている 	<ul style="list-style-type: none"> ・ペアレントトレーニングや学習会等に多くの家族が参加できるよう、内容や開催日程を工夫していく。 ・職員は研修に参加する等、ペアトレ実施のための研鑽を続ける。
	③⑫	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	29		<ul style="list-style-type: none"> ・入園前、家庭訪問にて個別の説明の機会を作っている 	<ul style="list-style-type: none"> ・ボリュームの多い内容であるため、分かりやすい書類と説明を心がけていく。
③⑬	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか	29		<ul style="list-style-type: none"> ・簡単なダイジェスト版を作成し、合わせて説明している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・丁寧な説明を行い、ご家族の同意のもと支援を提供していく。 	

③④	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	29			連絡ノートや送迎時、定期面談などを活用し、対応している。	保護者の話を傾聴し、必要度に応じて具体的な方法や支援の見直しなどを提案する。一緒に振り返りながら、よりよい方法を考えていく。
③⑤	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	29			保護者会、親の会の内容や参加方法などを一緒に考えている。	・引き続き保護者同士の連携が積極的に図れるよう支援していく。 ・参観日なども活用し、保護者同士が交わる機会を提供していく。
③⑥	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか	29			定期面談の他、申し出があった場合や様子により都度面談を設定している。	・保護者の思いを傾聴し寄り添うと共に、必要度に応じて具体策を提案していく。話したいときに保護者が発信しやすい方法を考えていく。
③⑦	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	29			毎月クラスだよりを発行している。 ホームページでも活動報告をしている。	・連絡事項等、早めにお便りを発信できるようにする。 ・お便りを活用し、発達支援や保育の情報や、こどもの様子をお伝えしていく。
③⑧	個人情報の取扱いに十分注意しているか	29			必要に応じて同意を得る、扱いには十分注意をしている。	・法令遵守等、情報管理について適切に対処できるよう、研修も含めて職員に周知徹底していく。
③⑨	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	29			写真や支援グッズ、翻訳アプリなど視覚情報を交えながら、情報共有している。	・わかりやすかった方法を職員間で共有しながら、相手に合ったコミュニケーションをとる。

	④⑩	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	28	1		地域の方を招いた交流会やおもちゃ図書館を行っている。	・園の様子と取り組みを知っていただく機会を広げていく。
非常時等の対応	④⑪	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか	29			マニュアルや計画をもとに、各種定期的な訓練を実施している。	・マニュアル等を職員や保護者が活用できるよう、周知の仕方を工夫していく。 ・訓練の様子は連絡帳やブログで発信していく。
	④⑫	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	29			火災や風水害等を想定して訓練を行っている。	・月に1回の訓練を行い、その都度振り返りを行い、緊急事態に備えていく。 ・必要な備品についても定期的に確認していく。
	④⑬	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか	29			入園前の聞き取り、入園後の面談において、丁寧に聞き取り職員間で共有している。	・看護師を中心に個々の健康状態を把握し、健康面の管理を含め対応していく。 ・必要に応じて看護師との面談などを行う。
	④⑭	食物アレルギーのある子どもについて、示書に基づく対応がされているか 医師の指示に基づく対応がされているか	29			医師の指示書に基づいて除去食の対応をしている。	・管理栄養士・看護師と情報共有し除去食品の把握をし、代替食を提供するなど、安全管理に努め対応する。
	④⑮	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	29			会議や紙面にて迅速な共有と再発防止に努めている。	・全職員で共有し、防止に努めている。 ・内容によっては期間においてモニタリングを行い、改善状況を確認していく。
	④⑯	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	29			虐待防止に関して、全職員が研修をしている。	・法人内に虐待防止委員会を設置し、研修を行っている。 ・具体的事例を用いたロールプレイなどを行い、支援の質を高めていく。
	④⑰	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか	29			身体拘束委員会を設置している。やむを得ず行う場合の条件や手順、説明と同意について、組織としての相談ルートがある。	・やむを得ず身体拘束が必要な場合は、保護者と十分話し合いを重ね、個別支援計画に明記し、安全な支援に努めていく。 ・身体拘束委員会を設置し、日々の支援の検証を行う。

◎ この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所全体で行った自己評価です。

公表:令和8年3月31日

事業所名(福)上田明照会 蓮の音こども園 保護者等数(児童数)40名 回収数 32 割合 80.0 %

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・体制整備	①	子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	30	2	0	0		・利用できる時間や人数を調整しながら、安全に遊べるようにしています。
	②	職員の配置数や専門性は適切であるか	29	2	1	0	・一人一人に合った支援を受けられると感じる。注意深く見ている助かる ・できたら玄関での受け入れ人数が増えると良いと思う ・訓練士の人数、回数を増やしてほしい	・変則勤務やバスの運行により、朝の受け入れ職員が少ない場合がありますが安全な対応に努めています。 ・訓練の内容が充実するよう、スケジュール管理や内容共有に努めます。
	③	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障がい の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切に なされているか	31	1	0	0	・朝の準備の動線やワークシステム、スケジュールなど支援が行き届いている。 ・先生手描きの絵カードのクオリティが高く感じさせられます。絵や写真を使ったスケジュール表も子どもたちの見通しがついて参考になります。	・見通しを持つ、遊びが充実するよう、個々に応じた環境調整やコミュニケーション手段を活用しています。
	④	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	31	1	0	0	・教室はクーラーもあり快適そう。冬は換気をしてもらえるのか?	年間通じて換気の時間を作っています。感染症予防や気持ちのよい空間づくりに努めます。
適切な支援の提供	⑤	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画が作成されているか	30	2	0	0	・細かく活動計画が作成されていてすごいと思う。	・今後も、適切なアセスメントと、ニーズが反映された支援計画の作成に努めます。
	⑥	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	30	2	0	0		・5領域と家族支援、地域支援を踏まえた計画を作成しています。 ・ご家族の思いやお子さんの発達に合わせた具体的な目標を設定し、分かりやすい計画の作成に努めます。
	⑦	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	30	2	0	0		・児童発達支援計画を月々の短期目標に落としこみ、月のまとめを所見としてお渡ししています。お子さんの気付きや興味があるところを大切に支援をしております。
	⑧	活動プログラムが固定化しないよう工夫されているか	29	3	0	0		・クラス活動、園全体としてのプログラム等、こどもたちの興味に合わせて計画しています。こどもたちとの話し合いで活動を定める取り組みも行っています。

	⑨	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	28	3	1	0	<ul style="list-style-type: none"> ・甘露との交流があったことが連絡帳でよく書いてあります。 ・遊びや園庭、夏祭りなど交流機会が多く助かっている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・隣接する甘露保育園との交流は、クラス、廊下、園庭での自由遊び、リトミックや運動遊び等の日常場面で行っています。 ・どのお子さんも幅広い体験ができるよう、一人ひとりの気付きや思いを大切にしています。 ・両園のこどもたちがお互いを知り、双方にとっての成長を支えていきます。
保護者への説明等	⑩	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	30	2	0	0		<ul style="list-style-type: none"> ・複雑でボリュームの多い内容です。わかりやすい説明に努めます。
	⑪	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がされたか	29	2	1	0		<ul style="list-style-type: none"> ・課題と具体的な取り組みが分かりやすい計画を作成し、わかりやすく伝えるよう努めます。
	⑫	保護者に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）が行われているか	29	3	0	0	<ul style="list-style-type: none"> ・予定されています 	<ul style="list-style-type: none"> ・両親で参加しやすいよう、土曜日開催としました。来年度も同じ形で継続します。
	⑬	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況、共通理解ができているか	28	4	0	0	<ul style="list-style-type: none"> ・食事や午睡などについてほぼ毎日教えて頂ける。 ・毎日の連絡帳や送迎時に園の様子を細かく知ることができる。 ・毎日の連絡帳で相談できるので助かります。 ・お迎え時の職員とのやり取りを楽しみにしているが、挨拶のみで帰ることが多い。 	<ul style="list-style-type: none"> ・連絡ノートや送迎時のやり取り、個別面談等は、ご家庭と共有できる大切な時間であると考えています。必要に応じて面談を設定するなど、今後も丁寧なコミュニケーションに努めます。
	⑭	定期的に、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	27	4	0	1	<ul style="list-style-type: none"> ・定期的にモニタリングがあり、困っていることが相談できる。 ・送迎時や連絡帳で質問をすると助言をして頂いている。 ・2年目以降になると面談が減るのでもっとあってよい 	<ul style="list-style-type: none"> ・モニタリングや定期的な面談以外にも、随時、面談を行っています。声をあげやすい体制を整えていきます。
	⑮	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	29	2	1	0	<ul style="list-style-type: none"> ・OBへの質問の機会があり勉強になる ・定期的に保護者同士の交流があり色々な話が聞ける。 ・OB講演会やママザウルスで保護者と話す機会があり良い。 ・「ママザウルス」「宝池親の会」楽しく参加させて頂いています。貴重な情報収集の場となっています。 ・ママザウルスにも職員が参加してほしい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・園の保護者会以外にも、法人の親の会や近隣の児発センターの保護者との交流があり、先輩家族と話す場があります。活動の内容を知っていただけるよう、保護者の方とも連携していきます。
	⑯	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されているか	28	3	0	1	<ul style="list-style-type: none"> ・前日に起きた事案に関し翌日すぐに面談をして頂けた。それ以外でも面談したいと言うと相談をしやすい空気 	<ul style="list-style-type: none"> ・要望や面談等に配慮し、迅速、かつ適切な対応に努めます。

	⑰	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	27	4	1	0	・ノートの活用が役に立っている。 ・園長先生と面談した内容が担任の先生と共有されているのか疑問に感じる時がある。	・記載方法や面談時間、場所等、個々に配慮した対応に努めます。 ・迅速な情報共有に努めます。
	⑱	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されているか	31	1	0	0	・STでの経過をもう少し具体的に知りたい。 ・写真付きでお便りやブログがあり、子どもの園の様子が分かりありがたい。	・クラスの予定や発達支援・保育に関する情報はオクレンジャーで配信しています。 ・ホームページやブログは定期的に更新されています。地域支援、訓練の様子なども発信して参りますのでぜひご覧ください。
	⑲	個人情報の取扱いに十分注意されているか	31	1	0	0	・顔出し可否のアンケートで安心	・個人情報の取り扱いについては職員で認識を深め、適切な管理・対応をしていきます。
非常時の対応	⑳	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、保護者に周知・説明されているか。また、発生を想定した訓練が実施されているか	31	1	0	0	・予告なしの訓練があり安心して居る。解熱後24時間のルールも徹底されていると感じる。 ・毎月、職員も抜き打ちの訓練に対応できていてすごいと思います。	・各種マニュアルは整備しています。各家庭配布の発達のお便りに記載しています。 ・訓練の実施後は、お便りや連絡ノートにて訓練の様子をお伝えしています。
	㉑	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	31	1	0	0	・予告なしの訓練があり安心して居る。	・年間計画に基づいて、火災や地震、不審者等を想定し各種訓練を行っています。 ・定期的に消防署や生活安全課の指導を受けて訓練を行っています。 ・今年度は大災害を想定して引き渡し訓練も行いました。
満足度	㉒	子どもは通所を楽しみにしているか	27	4	1		・先生を信頼しているのが子どもの表情を通じて伝わる。 ・毎日嫌がらずに行っているので職員がいろいろ考えて活動していることがわかる。 ・父母と子の分離の悲しさはありますが、行き渋りなく登園できているので助かります。 ・行けば楽しいようだが、登園日と知ると不安そうな顔をする。休みの日に「行きたかった？」と聞くと「行きたくない」と答える。	・お子さんのペースで、安心して楽しく過ごせるよう、また、ご家族の皆様が安心して送り出せるよう、更なる創意工夫に努めていきます。
	㉓	事業所の支援に満足しているか	29	3	0	0	・いつもありがとうございます。 ・大変満足しております。 ・先生方が親切で子ども一人一人をよく見ているので安心して任せることができます。 ・いつもしっかり見ていただいているので、安心して子どもをお願いできます。 ・2年目、3年目になると少し雑な扱いな気がします。	・保護者の皆様には、日頃より園の運営にご理解とご協力をいただき、本当にありがとうございます。アンケートでは、温かいお言葉を頂戴し、心より感謝申し上げます。 ・これからも、全ての子どもたちの意思やニーズが大事にされ、地域の中で共に過ごすインクルーシブ社会の実現に向けて、地域と連携しながら、児童発達支援センターの役割を果たしていきます。 ・ご本人とご家族の思いに伴走しながら、丁寧に誠実な対応に努めてまいります。

◎ この「保護者等からの事業所評価の集計結果（公表）」は、保護者等の皆様に「保護者等向け児童発達支援評価表」により事業所の評価を行っていただき、その結果を集計したものです。

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	蓮の音こども園		
○保護者評価実施期間	R7年12月20日		～ R8年2月15日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	9名	(回答者数) 7名
○従業者評価実施期間	R7年12月20日		～ R8年2月15日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	4名	(回答者数) 4名
○訪問先施設評価実施期間	R7年12月20日		～ R8年2月15日
○訪問先施設評価有効回答数	(対象者数)	9件	(回答者数) 9件
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年3月1日		

○分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	実際ことも関わったり行動を観察したりしながら、行動の理由や発達段階、発達特性を踏まえた支援を提供しています。	・訪問支援員は、訪問がない日は園のクラスの支援に入って日々実践を行っており、現場での実践と地域支援が結びついたものになっています。 ・発達支援や保育、インクルーシブ等の研修や勉強会などを行いつつ、支援の質の向上に努めています。 ・行動観察や直接支援を行ったり、フォーマルなアセスメントツールを利用したりしながら、チームアプローチを行っています。	引き続き、資質向上のための取り組みを行っていきます。訪問支援員拡大のために、現場職員が地域の園の取り組みを知る機会を作り、お互いの実践が結びつくように努めます。
2	保護者の困り感や前回の訪問後の様子を丁寧に聞き、家でできる環境設定や声掛けなどの具体的手立てを共有しています。	・訪問後には必ずご家族を交えてカンファレンスを行い、園の様子を共有したり、成長を確認したりする場を持っています。その際、家での困り感などがあれば、具体的にお話いただき、それについての手立ても一緒に考えています。	現在実施している支援を、引き続き丁寧にやっていきます。外国籍の方等にも安心してご利用いただけるよう、ご家族に合わせた情報共有の方法も工夫していきます。
3	訪問先施設や担任の方針や意向を丁寧に聞き、こどもの見立てを共有しています。相談しやすい関係性づくりに努めています。また、対象児のみならず、どの他児にとっても過ごしやすい環境づくりやクラスづくりのための具体的な方法、取り入れやすい方法を提案しています。	・職員は「訪問先施設の方針を大切に」という共通認識のもと、お子さんと実際に関わっている先生方の声を聞くことを大切にしています。 ・支援を提案するときは、具体物を見せたり、実際にやっているところを見せたりし、取り入れられそうかどうかを一緒に考えています。 ・カンファレンスの内容(今後の手立て)は書面にして、訪問先、保護者と共有しています。	現在実施している支援を引き続き丁寧にやっていきます。現場の先生方が成功体験をし、園全体に支援が共有されていくよう、行政や関係機関とも連携していきます。園のこともたち皆がわかりやすい過ごしやすい生活を目指していきます。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	訪問支援の内容や様子が見えにくい、ペアトシなど家族支援の情報提供に関してわからない、という一定数の回答をいただいています。	保育現場で提案していることも多いため、カンファレンスの中で共有されなかったことがあるかもしれません。集団生活において、お子さんがどんなことに困っていて、どんな手立てがあると良いか、保護者の方にもイメージしやすいよう説明する必要があると考えます。	家族支援の機会や相談支援体制をわかりやすく周知できるように努めます。ご家族がお子さんの園での様子をイメージし、子育てに見通しが持てるよう、支援内容を具体的にお伝えしていきます。支援の様子を記録に残して3者で共有しておりますが、よりわかりやすいものになるよう努めます。
2	ホームページ等での情報発信や、緊急時の対応に関して、「わからない」という回答を一定数いただいています。	説明時の内容が多く、わかりにくいことも予想されます。	支援開始前の説明方法を工夫していきます。(見える化)訪問支援に関わるスタッフ間や、地域の保育所等訪問支援事業所と情報共有しながら、わかりやすい発信に努めます。

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		蓮の音こども園		公表日 令和8年3月31日		
	チェック項目	はい	いいえ	工夫していると思う点・改善が必要だと 思われる点など	課題や改善すべき点	
環境・運営・体制整備	1	訪問支援に使用する場合の教具教材は適切であるか。	4	0	・すでに園にあるものを最大限に活用できるように工夫している。また園の先生たちにすぐ試してもらえるように、取り掛かりの部分を手伝っている。 ・訪問先の園の状況に応じて提供する教材を決め提供するようになっているが、不十分な点も多々あるかと思う。	保育の場面で必要なもの(見通しのための視覚支援や切り替えグッズ、手作りおもちゃなど)がある場合は、園から持参して実際に使用し、アイデアの一つとして提案する。
	2	利用希望者に対して、職員の配置数は適切であるか。	3	1	・現時点では適切だが、現場のニーズに合わせてもう少し人員が配置されてもいいかもしれない。 ・訪問先の数に対して適切だと思う。	今後の保育所等訪問支援のニーズに応じて、職員配置ができるよう人材育成に取り組む。
業務改善	3	業務改善を進めるためのPDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	4	0	・支援計画をもとに訪問先の職員(対象児とかかわる職員)と支援を振り返るようにしている ・半年(あるいは3か月)ごとに行っている。	保護者や訪問先がわかりやすい具体的な計画と、業務の中で実現可能な方法を工夫していく。
	4	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	4	0	・訪問先の保護者の意見を聞き、次の支援や業務の改善に繋げられるようにしている。 ・評価表の記入をお願いし業務改善の参考にしている。	わかりにくいところ等、保護者の声をききながら、改善に努めていく。
	5	従業員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	4	0	・訪問前後は内容について相談の機会を持っている。 ・職員面談の機会があり、業務について意見交換している。	今後も訪問後の情報共有、面談などを行い、改善点を探りながら進めていく。
	6	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	4	0	・以前第三者評価を受審した。毎年自己評価を行い改善に繋げている。	SWOT分析を行い、中長期計画をもとに進めていく。
	7	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	3	1	・年間計画に基づき、法人内外研修がある。	各自研修や自己研鑽を行う他、地域の保育所等訪問支援を行う事業所との学びの場を作っていく。
適切な支援の提供	8	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、保育所等訪問支援計画を作成しているか。	4	0	・アセスメントで対象児の興味関心を確認し、目標に反映している。	引き続きおさんとご家族を丁寧にアセスメントしながら計画を作成していく。
	9	保育所等訪問支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	4	0	・支援計画には訪問先の保育士や訪問員など多くの職員が携わっている。 ・訪問先の園・事業所の関係者で情報の共有をし作成している。	複数の職員の視点で確認し合いながら作成する。職員は主体的に発言できるように努める。
	10	保育所等訪問支援計画を作成する際には、訪問先施設の担当者等と連携し、訪問先施設や担任等の意向を盛り込んでいるか。	4	0	・アセスメントや家庭訪問の中でご家族の願いや保育士の思いを聞き取り反映させている。 ・サービス等利用計画や保育計画なども確認しながら作成している。	引き続き、訪問先施設と密な連携を図りながら、こどもの見立てを確認し、本人にあった計画となるよう努める。
	11	保育所等訪問支援計画が職員間で共有され、計画に沿った支援が行われているか。	4	0	・カンファレンス等で共有し、支援を実施→評価をしている。	どこに向かって支援をしていくか、支援の根拠を皆が共通認識として持ちながら進んでいけるよう、努める。
	12	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	4	0	発達検査結果、行動観察も踏まえてアセスメントしている。	発達検査や行動観察等フォーマルとインフォーマルなアセスメントを組み合わせる多角的な視点でアセスメントしていく。
	13	保育所等訪問支援計画には、保育所等訪問支援ガイドラインの「保育所等訪問支援の具体的な内容」も踏まえながら、具体的な支援内容が設定されているか。	4	0	・訪問先の状況に合わせてわかりやすく提案できるように心がけている。	園からの方針を踏まえ、具体的に実行可能な方法を一緒に考えていく。
	14	保育所等訪問支援計画が職員間で共有され、計画に沿った支援が行われているか。	4	0	・カンファレンス等で共有している。	引き続き丁寧な共有と、同じ方向を向いた支援に努めていく。
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	4	0	・事前に前回から訪問日までの様子を聞いている。 ・訪問時には、訪問先の園長先生をはじめ、保育士と活動や対象児の様子などを共有し、保育の場に参加させていたこともあった。	今後も話し合いを密に行いながら、チームで支援していく。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	4	0	・訪問時にはカンファを行い家族や関係者で共有している。 ・センターに戻ってから訪問支援に関わる職員間でも気付きを共有している。	引き続き、タイムリーな報告・連絡・相談を行っていく。

	17	保育所等訪問支援を実施する際、訪問先の理念や支援手法を尊重して支援を行っているか。	3	1	・理念を十分に確認できていなかった。 ・留意している。	訪問先職員の思いや困りごとをよく聞きながら、子どもの気持ちや行動の理由を考え、立ち回り方や集団に参加するためのスモールステップを考えていく。 訪問支援員も振り返りを行い、訪問先との連携に活かしていく。
	18	毎回の支援に関して、記録を取ることを徹底し、支援の検証・改善に繋がっているか。	4	0	・訪問日の支援を記録に残し、支援の振り返りを行うこと、支援の共有ができる。	引き続き、わかりやすい記録に努め、次の手立てに活用していく。
	19	定期的に保護者や訪問先の意向の確認やモニタリングを行い、保育所等訪問支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	4	0	・状況に応じて3か月あるいは半年等期間を決定している。 ・相談支援、保健師、発達相談センター等とも共通認識を持ちながら進めている。	職員間で共通認識を図りながら、保護者や訪問先施設の意向も確認し、皆の合意形成を図るよう努める。
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	4	0	・対象児にかかわる機関(事業所・保健師・行政など)が参加し子どもの成長について確認をしている。	引き続き、様子がよくわかる職員、それを園全体でフォローできるよう管理者や主任などを交えながら会議を持つ。
	21	地域の保健、医療(主治医や協力医療機関等)、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	4	0	・モニタリング時には市町村の関係者や子どもをとりまく関係者も参加し連携している。	引き続き、行政担当者等を交え、先に繋がる支援体制を構築していく。
	22	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	4	0	・園で行っている支援方法を伝えてもらうようにしている。	生活のステージが変わる時には、支援を要する場面とできることがしっかり引き継がれるよう、関係者と共通理解をもちながら進めていく。
	23	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等に助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。	4	0	・それぞれに外部の研修や書籍などで学びを深めている。また、訪問先にも本の紹介し共有している。	自己研鑽に努めながら、その知識とスキルを地域に還元できるよう、努めていく。
	24	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。	4	0	・積極的に参加し、地域づくりに努めている。	支援の必要なお子さんと家族のこともっと知っていただきながら、地域で安心して生活できるようにできることを関係者と共に考えていく。 その取り組みについてHP等を活用して発信していく。
	25	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	4	0	・訪問時には園での様子の他に、家での様子も共有し、家での困り感に対しても関係者と話し、発達に合わせた支援の方法を提案している。	引き続き家族との丁寧な共有を大切にしていく。
	26	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	4	0	・必要に応じて、ペアトレや研修の情報提供をすることもある。	引き続き、保護者のニーズに合った企画を考え、保護者が広く参加できるよう努めていく。
保護者等への説明等	27	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	4	0	・担当者が丁寧に行っている。 ・外国籍の方には通訳を通して説明をさせていただいた。	伝え方と反応について、職員間でも振り返りを行い、改善点は次に反映させていく。
	28	訪問先施設に対し、事業の趣旨や訪問支援の目的等について適切に説明を行っているか。	4	0	・担当者が丁寧に行っている。	訪問支援を有効活用できるよう、両者に目的を丁寧に説明していく。受け入れ先が訪問を負担に感じることのないよう、スケジュールややり方についても丁寧に説明していく。
	29	保育所等訪問支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	4	0	・カンファレンスの際に丁寧に聞き取るようにしている。	引き続き、思いや願いを丁寧にくみ取っていく。
	30	「保育所等訪問支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から保育所等訪問支援計画の同意を得ているか。	4	0	・説明時には子どもの興味関心や発達の段階などを取り入れながら丁寧に説明をしている。	引き続き、保護者に合わせてわかりやすい説明に努め、実態に合った計画を作成していく。
	31	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか。	4	0	・カンファレンスの際に相談に応じ、支援方法を提案している。	保護者が相談できる方法の周知と、タイムリーな対応に努める。
	32	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	2	2	・訪問の中で、他保護者への説明やきょうだいとの過ごし方についてのこれまでのケースの話をした。 ・児発の中では、保護者交流のための場づくりをしている。	訪問先の話聞きながら地域のニーズを把握していく。
	33	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	4	0	・児発と共通:迅速な対応し、必要な改善を講じている。	引き続き迅速丁寧な対応をしていく。
	34	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	3	1	・フォーラムや研修会、視察見学の場合訪問支援について発信している。	引き続き、保育所等訪問支援のメリットなどを地域に発信していく。
	35	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	4	0	・保護者に同意を取った上で、必要な情報を正当なルートでやり取りしている。	個人情報に関する留意点を、全職員が理解できるよう、折に触れて確認する場を設ける。
	36	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	4	0	・必要に応じて視覚的にわかりやすい書類に変更する等、配慮している。	引き続き、個々に合ったコミュニケーションツールを使いながらやり取りしていく。
	37	訪問支援に加え、訪問先からの相談等に適切に応じる体制を整え、必要な助言や支援を行っているか。	4	0	・訪問時以外にも電話等で連絡し合えるような体制を取っている。保護者の都合に合わせて柔軟に対応している。	引き続き、相談しやすい雰囲気づくりに努め、タイムリーに対応していく。

訪問先施設への説明等	38	保育所等訪問支援の実施後に、訪問先施設とカンファレンスを行っているか。	4	0	必ず行っている。保護者の都合で難しい時は、別日を設けるなど柔軟に対応している。	引き続き、丁寧に行っていく。
	39	保育所等訪問支援の実施後に、家族等へ適切に支援内容等の共有を行っているか。	4	0	・カンファも同席していただく他に書面にでもお伝えし共有している。	引き続き、具体的の手立てを一緒に考えていく。スモールステップでどこを目指すか、向かう方向も共通認識が持てるようにする。
	40	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	4	0	・十二分に留意し慎重かつ厳重に取り扱っている。	必要な事項がタイムリーに共有されるよう、配慮のもと行う。
	41	訪問先施設からの相談に適切に応じ、信頼関係を築きながら、専門的な助言を行っているか。	4	0	訪問先施設の状況を見て、先生たちどのような支援なら取り組みそうか相談するようにしている。	子どもだけでなく、訪問先施設の職員も成功体験として実感できるように、共に考えていく。
非常時等の対応	42	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	4	0	・達の音こども園としてのマニュアルは整備しており、定期的に訓練を行っている。	定期的に配慮事項や手順など確認し合い、周知していく。
	43	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	4	0	・訪問先に準じて行っている。	安全に過ごせるよう、必要な情報を共有していく。
	44	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	4	0	・報告・連絡・相談を忘れずに行っている。ヒヤリハットの報告・共有の仕組みは整っている。	引き続き、園全体で取り組んでいく
	45	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	4	0	・年間計画をもとに、法人、事業所にて虐待研修を行っている。	毎年園全体で取り組み、質の向上を目指す。
	46	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	4	0	身体拘束委員会を設置している。組織的な決定の相談の仕組みは整っている。	身体拘束適正化委員会を効果的に運用しながら、不適切な対応が生じない支援を行う。

公表

保護者からの事業所評価の集計結果

事業所名 蓮の音こども園

公表日 令和8年3月31日

利用児童数 9件

回収数 7件

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制整備	1 訪問支援に使用する教具教材が整えられていますか。	4	0	0	3	訪問時の様子はわからない	訪問支援の際は、視覚支援やメモ、イラストを使ってやり取りする方法をご提案することがあります。本人にとってわかりやすく、誰でも実施しやすい方法を一緒に考えていきます。
	2 プライバシーに配慮された面接室等が整えられていますか。	5	1	0	1		カンファレンスの際は、訪問先施設様にて、場所を設定して下さっています。プライバシーが守られるよう、引き続き留意していきます。
	3 事業の目的が適切に説明されていると思いますか。	7	0	0	0		目的と方法を事前に丁寧に説明していきます。
	4 保育所等訪問支援の頻度や時間について、相談の上決定されていますか。	6	1	0	0	頻度については事業所側の都合で決まっている	ご本人、ご家族の状況、訪問先施設との相談の上、決めています。利用上限日数については、根拠法によって定められています。
適切な 支援の 提供	5 こどもの状態に応じた支援が提供できる職員（職種や人数）体制だと思いませんか。	7	0	0	0		保育園、幼稚園、児童発達支援に詳しい職員を配置しています。児発管、管理者も適宜参加し、相談できる体制をとっています。
	6 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いませんか。	7	0	0	0		複数人の目でアセスメントをしながら、お子さんの乳付きや強みを捉え、発達段階に合った支援を皆で考えていきます。
	7 こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、保育所等訪問支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いませんか。	7	0	0	0		訪問時の様子、訪問先からの情報と目標、ご家族の話をお聞きしながら作成しています。こどもの状況が変わった時には評価・更新をしていきます。
	8 保育所等訪問支援計画（個別支援計画）には、訪問先施設や担任等の意向が盛り込まれていると思いませんか。	7	0	0	0		事前アセスメントの際に、訪問先施設の意向や担任の思い、願いなどを丁寧に聞き、それを踏まえて計画を立てています。
	9 保育所等訪問支援計画には、保育所等訪問支援ガイドラインの「保育所等訪問支援の提供すべき具体的内容」も踏まえながら、具体的な支援内容が設定されていると思いませんか。	7	0	0	0		訪問先施設の方針を確認しながら、具体的かつ、取り組みやすい内容を盛り込むようにしています。
	10 保育所等訪問支援計画に沿った支援が行われていると思いませんか。	7	0	0	0		訪問した時は必ずカンファレンスを行い、支援の進捗状況を確認しています。支援方法に関しては、やってみて合わなかったものは変更することもありますが、3者で共有しながら進めてまいります。
	11 保育所等訪問支援を実施する際、訪問先施設に配慮した支援が行われていると思いませんか。	7	0	0	0		引き続き、訪問先施設の方針や思い、スケジュール等を確認しながら支援していきます。
保護者への 説明等	12 事業所を利用する際に、運営規程、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	7	0	0	0		職員配置や運営、配慮点、利用料など、引き続き丁寧に説明をおこなっていきます。
	13 「保育所等訪問支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	7	0	0	0		カンファレンスの際は、保護者、訪問先施設、関係者（行政担当者など）を交えて内容を共有しています。
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行なわれていますか。	4	0	1	2		訪問先施設での研修や学習会はやっていませんが、参加可能な研修に関して情報提供させていただきます。家での関わり方等については、資料を使って情報提供させていただいています。今後ニーズに合わせた学習の機会を作っていきます。
	15 必要ときにこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況、課題について共通理解ができていますか。	6	1	0	0		状況に応じて、訪問時以外の時間にご相談を受けることもありました。引き続きお子さんを真ん中に、共通理解を図っていきます。
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	7	0	0	0		家庭訪問、訪問先施設での面談、相談を今後も丁寧にっていきます。
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いませんか。	7	0	0	0		今後も強みに着目しながら、支援方法を一緒に考えていきたいと思っています。
	18 こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	5	2	0	0		相談体制については、関係者の関わりなど複雑に感じることがあると思われます。相談窓口やバックアップ体制などについて、わかりやすい説明に努めます。
19 こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いませんか。	7	0	0	0		適宜こどもや保護者にとってわかりやすい視覚的なツール（イラスト、アプリ、書類など）を用いた丁寧なコミュニケーションに努めます。	
20 事業所は、訪問先施設からの相談等に適切に応じ、必要な助言と支援が行われていると思いませんか。	7	0	0	0		訪問支援のフィードバックを丁寧に、評価しながら、こどもも支援者も成功体験が得られる方法を一緒に考えていきます。	

	21	保育所等訪問支援を実施した際に、訪問先施設と訪問支援の内容について話し合いが行われていると思いますか。	7	0	0	0	今後も訪問先施設の具体的なニーズを聞きながら進めていきます。
	22	保育所等訪問支援を実施した際に、保護者に対して適切に共有がなされていると思いますか。	7	0	0	0	今後もカンファレンスにて、具体的なツールやエピソードを交えながら、丁寧な共有に努めます。
非常時等の対応	23	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	2	0	0	5	ホームページを皆さんに知っていただけるよう、説明や発信に努めます。
	24	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	6	0	0	1	利用の際に個人情報の取扱いについて、丁寧な説明に努めていきます。
	25	事業所では、緊急時の対応について訪問先施設と連携し、実践できるようにしていると思いますか。	4	0	0	3	訪問支援利用の説明の際に、非常時の対応について、皆様への周知の仕方を工夫していきます。
満足度	26	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	6	0	0	1	訪問先施設のルールに則り行動します。
	27	子どもは訪問支援を嫌がりませんか。	7	0	0	0	訪問することで、少しでもお子さんが過ごしやすい、楽しく生活できるような支援を目指します。
	28	事業所の支援に満足していますか。	6	1	0	0	ご本人、ご家族、訪問先施設の皆さんが本来の力を発揮し、今後に活かせるよう丁寧なコミュニケーションに努めます。

公表

訪問先施設からの事業所評価の集計結果

事業所名

公表日

令和8年3月31日

蓮の音こども園

利用児童数

令和8年1月

回収数 9件

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	ご意見	ご意見を踏まえた対応
1	訪問支援員からの助言や説明は、具体的でわかりやすく、取り入れやすいものですか。	9			<ul style="list-style-type: none"> ・実際に支援してもらったこと(訪問時間に)なのでわかりやすく良かった。 ・本児のクラスの支援の仕方をアドバイスして頂けてよかった。 ・カンファレンスの時間をしっかり設けていただいたので、具体的な話ができた。 ・保護者の方にも直接お話していただき、成長の姿や今後どのようにしていくか等の手立てを皆で共有できたことが、貴重な時間となりました。 	実際に支援をしている先生方からお子さんの様子を聞き、何に困っているかどうとよいか、先生方が取り入れやすい方法を一緒に考える、ということを大切にしています。実際に試してみたいかなということも、マッチしないこともあると思います。その際は一緒に分析しながら次の手立てを共に考えていきたいと思っています。
2	訪問支援員の支援に対する知識・技術等に満足していますか。	8	1			対象のお子さんだけでなく、所属することも私たち先生方も過ごしやすくなる手立てを提案できるよう、訪問支援の質の向上と、発達支援の理解とインクルーシブの推進に努めて参ります。
3	訪問支援員は質問に対して、適時・適切に回答してくれていますか。	9			<ul style="list-style-type: none"> ・どんな質問にも答えて頂いて助かりました。 ・カンファレンス以外でも、その場、その時に具体的なアドバイスをいただくことができた。 	今後も先生方とコミュニケーションを密にとりながら、タイムリーな対応に努めて参ります。
4	保育所等訪問支援を利用したことで、課題や困りごとが解消または軽減されましたか。	8	1		<ul style="list-style-type: none"> ・午睡についての過ごし方に悩んでいた時に、無理を言って午睡時間の訪問にいただくなど、こちらの状況を汲んで対応していただきありがとうございました。 ・カンファレンスを通して日頃の保育(支援)の悩みを聞いていただき、具体的な支援方法を教えていただいた。 ・何に困っているのか明確になり、どう援助したら良いかがわかりました。 ・毎回しっかりと話を聞いてくださり、保育をしていく上で日頃迷ったり悩んでいた部分を解消することができました。 ・手立てのアドバイスをいただき、それをやってみてその後も一緒に考えてくださり有難かった。 ・やってみたことを振り返ってかくにんできたことは良かった。 	提案した内容が、訪問先事業所の人員配置の中で取り組むことが難しい場合や、課題がすぐに解決されない場合もあると想定していますが、現在課題となっていること、今後の目標とそのため的小ステップ、その具体的な支援方法を丁寧に共有することで、見通しを持って支援ができるよう、一緒に考えていきます。
5	事業所からの支援に満足していますか。	8	1		<ul style="list-style-type: none"> ・満足です ・対象児だけでなく、他の子どもたちにも活かせる支援方法を学ぶことができた。 ・丁寧に対応していただきました。 ・1か月に1度来ていただいていたが、もう少し間隔があいてもいいのではないかと感じた。 	今後も、先生方と連携しながら、「地域の中で育つ」ことを支援していきます。さまざまな背景をもつこどもたちが、こども集団の中でお互いを理解し合いながら、自分らしく過ごせるよう、まずは私たち大人から理解を深めていきたいと考えています。今後も忌憚ないご意見をいただけますと幸いです。

<p style="text-align: center;">その他のご意見</p>	<p style="text-align: center;">ご意見を踏まえた対応</p>
<ul style="list-style-type: none"> ・訪問していただいたときは本児についてもらっているが、ずっとついているわけではないので、全体の中の対象児の姿に対しての支援の仕方、よい方法があれば教えていただきたいと思う。 ・6月～月2回訪問していただき、たくさんのご意見を教えていただきありがとうございました。実践的な対応や関わり方、視覚支援はもちろんです。どうしてその行動が起こっているかという見取りが学びになりました。日々の中では困ったり悩んだりすることもあります。先生方にご指導いただいたことを保育で実践して見ると本児と分かり合えることが増えたことが何よりの収穫でした。これからの保育にも生かしていきたいです。ありがとうございました。 ・日々の支援や関わり方に対する課題や悩みに対して、具体的に分かりやすいご指導・ご助言をいただき、保育環境の見直しをしたり、教えていただいた支援の仕方を取り入れたりすることができました。しかし、教えていただいた支援で取り入れられていないことも多々あるため、今後実践をしていきたいと思っております。いつも本当にありがとうございます。 ・お忙しい中、訪問支援に来て頂きありがとうございました。一緒に子どもを見て、考えて、アドバイスを頂き勉強になりました。 ・自分たちだけでは解決できない支援方法を専門的な知識を教えて頂いたことで対象児を含めたクラスにも活かせる支援方法を学ぶことができました。 ・保育園は集団生活を送っていますが、対象児もクラス集団の中で育っていきます。個人の支援方法、またクラス集団の支援方法など教えて頂きながらこの訪問支援事業がより良いものになっていけるといいですね。ありがとうございます。 ・保護者と園が同じ目標を共有して子どもに関われたことがよかったです。 ・家庭の様子が聞け、園生活の様子を伝える機会となり、保護者との連携の大切さを改めて感じる事ができました。 ・本人の成長を促すための関わりを学ぶことができ、本人の成長を感じることができました。ありがとうございます。 ・本園は、今回保育所等訪問支援を利用しました。初めてなので最初戸惑いもありましたが、園児の活動の様子からいろいろな情報をいただき、そして園児への支援の見直しができ訪問支援員さんをはじめ、保護者の方とも共有でき大変ありがたかったです。また、担任だけでなく職員みんなで園児のかかり方について情報を共有し、支援の統一ができたことはとても良かったです。今回「発達支援について子どもの行動の理由を考えてみよう」と題して園長先生に職員への勉強会をしていただいたことで支援の理解を深まったことと訪問支援について理解につながり助かりました。ありがとうございます。この出会いが園児、職員にとって支えとなり良い方向へ進め感謝です。 ・お忙しい中、月1回のペースで訪問していただき、カンファレンスの際に保護者の方とも共有できる時間が持てるので貴重な機会だと思います。まだ、始まったばかりですが、本児だけでなくクラス全体の成長につながる支援ができるように、アドバイスよろしくお願いします。 ・ご家族の都合でカンファレンスが予定通りに行えない時もありました。訪問を受け、友達を意識するようになり、歌に興味を持ち始め、覚えたものは一緒に楽しめるようになってたり日々成長を見せてくれています。それと共に新たな悩みも出てきています。今後も成長を丁寧に見守っていきたく思います。また、ご相談させていただくことがあると思います。今後ともよろしくお願ひ致します。 	<p>たくさんのご意見をたくさんいただき、ありがとうございました。 受け入れ先機関の皆様のご理解とご協力に感謝申し上げます。</p> <p>運の音こども園では、訪問支援を行った後は、ご家族と訪問先施設とカンファレンスを行い、お子さんに対する共通認識を持つこと、本人の思いや実際の対応を話し合い日々の生活の中で活かすことを大切にしています。これからも、PDCAサイクルを繰り返しながら、ご本人、ご家族や訪問先事業所の思いをよく聞きながら支援をしてまいります。</p> <p>また、私たち大人がこどもの行動の理由や気持ち、思いを理解しようとする、発達支援の理解が浸透すること、どのお子さんにとってもわかりやすく、過ごしやすくなると思えます。</p> <p>今後も、インクルージョンを進めていくために、地域の保育所等の先生方や行政、関係機関と連携し、地域ですぐすこもたちにとってわかりやすく心地よい場所を広げていけるよう、努めて参ります。</p>